



札私幼

第152号 平成27年12月15日発行

《編集》

札私幼広報委員会

《発行責任者》

一般社団法人

札幌市私立幼稚園連合会

前田元照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

札幌市生涯学習総合センター内

☎ 671-3590 FAX 671-3591

第58回 北海道私立幼稚園教育研究大会 札幌ブロック大会 第47回 札幌市私立幼稚園教育研究大会

平成27年11月6日(金)7日(土)の二日間にわたり、第58回北私幼教育研究大会札幌ブロック大会 第47回札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催されました。今年度も「子どもの『今』に寄り添い、子どもと『未来』をきずく」～保育臨床の視点を大切に、保育の質を高めよう～というテーマのもと、1650名を超える参加者と共に盛大に行われました。

一日目は、各区の会員園から私立幼稚園17園市立幼稚園1園計18園が会場となり公開保育、保育研究が行われました。午後からは各公開園の研究テーマに基づき分科会が行われ、それぞれの園で実践研究発表やディスカッション・ワークショップ、講師の方を招いての講演などが行われ、参加者の先生達は真剣に取り組み充実した学びの場となりました。

二日目は、わくわくホリデーホールに会場を移し全体会が行われました。セレモニーでは、大会長 前田元照札幌私幼会長、澤田豊北私幼会長の挨拶に続き、内閣府大臣政務官 衆議院議員 高木宏壽様、参議院議員 橋本聖子様、札幌市副市長 板垣昭彦様、札幌市私立幼稚園PTA連合会会長 白井晴彦様よりご祝辞をいただきました。また、札幌市教育委員会 児童生徒担当部長 松田昌樹様、札幌市子ども未来局 子育て支援新制度担当部長 野島聡様をはじめ札幌市私立幼稚園振興議員連盟所属の市議会議員4名の皆様にもご臨席いただきました。

基調講演では「保育の質を高めるために」と題して、東京大学大学院教育学研究科教授 秋田 喜代美先生よりご講演いただきました。

遊びの質に焦点をあて、園内研究による実践例や海外の研究結果など、沢山の事例を用いながら解りやす

札幌市私立幼稚園設置者・園長研修会

11月6日金曜日午後6時からTKPガーデンシティ札幌駅前にて125席が用意され、昼間の公開保育研究後にもかかわらず満席状況の中、設置者・園長研修会が行われました。前田札幌私幼会長のご挨拶で平成27年度から29年の3年間で私学助成のままの園は51園、新制度に移行し施設型給付の幼稚園および認定こども園になる予定の園が82園との数字が挙げられた後、文科省幼児教育課専門官大野 雅史氏を迎えて研修会が始まりました。講演の最初は新制度幼稚園分析ということで白石幼稚園園長太田先生が資産状況などの判断から移行の決断をした心情を明かし、在園児の保護者への説明など現在までの経過を副園長宿谷先生とともに詳細に報告されました。次に認定こども園分析として清明学園事務長白畑先生が幼保連携型認定こども園さつなえ



くお話していただきました。遊びの質を高めるために大切な事は遊び込むことであり、遊び込んでいるその時に子どもは伸び育って行くこと聞き、保育者は子ども達が遊び込むことができるように工夫することや子どもの夢中になっている表情をとらえていくなど意識しながら保育と向き合うことの必要性を感じました。また講演の途中に、「遊び込む」という言葉から連想する事はと投げかけられ、参加者同士が語り合う場面もあり、それまで真剣な雰囲気だった会場が一気に活気あふれる声に包まれました。

これからの子ども達にとって必要な力とは何なのかを常に課題に掲げながら、これからの子ども達のために一人一人が責任を引き受けて行くことを確認し合える研究大会となりました。この二日間を通して、各園の保育が充実したものとなり、子ども達が夢中で遊ぶ日々のために力を合わせて行きたいと願います。最後に、いつまでも保育者の心に残して欲しいと思いました。

「こころもち」

子どもは心もちに生きている。

その心もちを汲んでくれる人

その心もちに、

触れてくれる人だけが、

子どもにとって、有り難い人、

うれしい人である。・・・

その子の今の心もちにのみ、

今のその子がある。

倉橋惣三「育ての心」より

のりみの公定価格からみた職員配置および私学助成から施設型給付へ移行後の収入推移など資料を手元に説明がありました。どちらの園も説明の中で「子ども・子育て支援新制度」による理解を大野専門官に確認しつつ不安要素の部分については回答を求め進行しました。限られた時間の中でしたが質疑応答もあり、最後に藪札幌私幼副会長から白石幼稚園・清明学園に対し自園の資産状況を含めた情報提供に感謝の意が述べられ、「今後の方向性を見極めていくうえで今回の具体事例に沿って各園が十分に検討し、子どもたちの物的環境・人的環境を整えましょう」という力強い言葉で終了しました。



札幌市私立幼稚園 就職フェア

9月26日土曜日札幌コンベンションセンターにて、昨年に引き続き札幌市私立幼稚園連合会主催の「私立幼稚園就職フェア」が開催されました。今にも雨が降り出しそうな空もようでしたが、12時10分開場と同時にリクルートスーツに身を包んだ学生さん4人グループを先頭に開場し、時間の経過と共に次々と入場者が膨らみ、終了時間の午後3時までには約240名の学生さんたちが来場しました。

各幼稚園ブースの前にはお話を聞くのに順番を待つ学生さんたちの列ができていました。今回は昨年の反省を生かし、会場を分散することなく一箇所で実施したいという思いから大ホールを借用し、各区ごとの幼稚園パネル（札幌幼児教育センターから拝借）、続いて求人票（見やすいようにA3用紙サイズに拡大）という区切りで掲示したことにより集中や混乱を軽減し、より見やすくなっていただけたのではないのでしょうか。

会場が広く天井も高いことでゆったりとしたスペースの中でブースの園が、じっくりと幼稚園教諭としての仕事内容や魅力・自園の方針・特徴などをアピールできた時間だったように思います。反面、ブース参加園が会員園数の3分の1に満たないという淋しい結果



は、来場した学生さんから「〇〇園のブースはないのですか?」「〇〇園の事を聞きたいのですが…」と問われる声があったように、求人の有無に関わらず1園でも多くブース参加園を増やす事が今後の課題であると感じました。幼稚園教諭の資格を得る学生さんが、一人でも多く就職したいという思いの強い引き金になるよう、また、会員の皆さんには就職フェアの意義を自園のために活用し、良い結果に結びつくよう運営側の広報委員会として検討を重ね、来年度もしっかり準備に取り掛かりこの日を迎えたいと思います。

朝早くからお手伝い頂いた振興委員の皆さん・最後まで片付けをして頂いた参加園の皆さんお疲れさまでした。次年度は平成28年9月24日土曜日、場所はホテル札幌芸文館（北1条西12丁目）で開催の予定です。改めて会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第14回次世代研修会

政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第14回次世代研修会が7月30日(木)31日(金)に行われ、熊本大会に参加させて頂きました。各政令指定都市から80名程の次世代を担う先生方が集まり開催されました。札幌私幼の代表としてこのような貴重な場に参加させて頂いたことに感謝致します。

梅雨明けしたばかりの熊本市に、暑い暑い出迎えを受けながら、「熊本で学ぼう・語ろう!～政令指定都市の輪～」とテーマを掲げ本大会が始まりました。4年前に政令指定都市となった熊本市が初めて行う大会ということで内容も熱い物でした。一日目の講演は「くまモンにみる熊本県のブランド戦略」熊本県商工観光労働部観光経済交流局 くまもとブランド推進課長 成尾雅貴様からくまモン誕生から現在までの生い立ちやくまモンをブランド化し成長させるまでのお話を聞きました。サプライズに本物のくまモンも登場し熊本はくまモンがいなくては始まらない!という雰囲気になりました。次に、「各都市の私立幼稚園団体の状況について」というテーマで鼎談が行われ、北九州市私

立幼稚園連合会長村上先生、札幌市私立幼稚園連合会長前田先生、熊本市私立幼稚園協会副会長角先生が意見交換をしました。団体（都市）が育てる次の世代を考えた時に要となる幼稚園はどうあるべきか、政令指定都市における私立幼稚園の意味など深く考えるべき内容が繰り返されました。政令指定都市が元気で活気にあふれること、そして力を合わせることの大切さを感じる研修会となりました。

最後に、同行して下さいました前田会長、前鼻先生にはお世話頂きありがとうございます。この研修会で得られた事を少しでも幼稚園連合会にお返しできればと思います。今回は貴重な経験をありがとうございます。(札幌みづほ幼稚園 副園長 大村紋子)



札幌幼児教育セミナー 8月25日(火) かでる2.7

「保護者と向き合う、保育を伝える」

今年度第1回目の札幌幼児教育セミナーは、大妻女子大学家政学部 児童学科教授 岡 健先生をお迎えし、かでる2・7で行われました。今回の演題は「保護者と向き合う、保育を伝える」。①現代の保護者達の子育てに対する思いや悩み、幼稚園へどんな事を求める傾向にあるのか、それを私達保育者はどう理解していけば良いのか。②保護者の想いに寄り添いながら、プロの保育者として、自信を持って真の保育を伝える事の意味やその方法についてお話して頂きました。

具体的な事例を出し映像を使って紹介して頂いたほか、ご自身の子育てのエピソードを通してのお話に、“自分だったらどうするか？”と考えさせられ、自分の保育を見直すきっかけになった先生も多かったようです。昨年度の研修でワークを行った、吹き出しを使っ



たお便りの書き方についてもお話して頂き、岡先生のお話に共感や納得する中で、「結果ではなく過程を大切にすること」や「子どもの“育ち”を伝える事の大切さ」を実感する時間となりました。

設置者・園長研修会

平成27年8月26日(水)、かでる2・7にて札幌市私立幼稚園連合会主催の設置者・園長研修会が行われました。「よりよい保育を行うための、幼稚園の物的環境を考える」と題し、今年度も大妻女子大学家政学部児童学科教授 岡 健先生の講義に、終了時間を忘れるほど熱心に耳を傾ける参加者の皆さんでした。札幌ゆたか幼稚園の園庭で遊ぶ子ども達の様子をビデオに収めた映像をもとに、園全体の環境構成と子ども達がより豊かな経験を得る環境とはどのようなものか、環境を上手に利用したよりよい保育を行うための教師の役割について、また、子どもが分かっている危険は事故が少なく、予期しない危険は大事故につながるリスクが高いことなど、安全性の面で配慮ある環境作りをいかに取り組んでいくか等、現時点での環境整理をすること、質向上へ向けた園内研修の方向性を教えていただいた研修でした。



特別研修会～実習生養成講座～

第1回目 8月26日(水) かでる2・7
第2回目 9月16日(水) かでる2・7

今年度初の試みとして行われた「特別研修会」は、大妻女子大学家政学部児童学科教授 岡健先生をお迎えし、藤女子大学・札幌ゆたか幼稚園のご協力を得ながら行われました。

「実習生を受け入れて」

札幌ゆたか幼稚園 小縣美沙 竹内倫子

私達はこの度、大妻女子大学の岡健先生のご指導の下で、実習生にも幼稚園にもプラスになる取り組みを実践致しました。それは、常にカメラを持ち、子どもの写真を撮り、前半の2週間は毎日1枚選んでお便りを作る。後半の2週間は自由遊びの様々な場面の写真を模造紙に貼り、吹き出しをふりマップを作る。最終日にはマップをもとに自由遊びの指導案を作成するというものでした。私達担当教師は、毎日の反省会の中で、写真を見ながら、“どうしてその吹き出しをつけたのか”そして場面の説明を聞きました。ここまでは実習生もすぐに答えられるのですが、その後の“子どもが育ちたい力は何か？”となると、困ってしまい考え込んでしまう事がありました。そんな時は私達の方から、その子の前後の行動を聞いたり、写真の表情から子どもの想いを一緒に考えていきました。私達も初めは慣れておらず、良い言葉が見つからず難しさを感じましたが、日を追うごとに要領を得て、うまく導いていけるようになり、とても良い経験になりました。一方実習生は、写真に収めて見返すことで、気がつかなかった部分が見えてきたり、心情面を色々と考えてみる事で子ども理解が深まったと共に、自由遊びにおける環境一つひとつに意味がある事を学ぶことができ、充実した実習になったようです。幼稚園としては、こ

のマップ作りを継続し、毎週末子どもの写真と吹き出しから、“この環境今の子どもに合ってる？”“今後どのような仕掛けがあったら遊びが発展していくか？”“遊びとしての育ちは？”という事を話し合う時間を作るようになりました。翌週に向けての環境を具体的に書くことで、自由遊びの指導案ができ、教師一人ひとりの意識が変わってきました。このように今までの実習の形態とは違い、戸惑いもありましたが、手応えを感じることができました。この取り組みを今回で終わりせず、良き保育者の養成と、何より子ども達の為に続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、このような貴重な学びの機会をくださった方々に深く感謝致します。



平成27年度 さっぽろ ようちえん・こどもえん にここフェスティバル

未就園児の保護者を含む市民に向け、札幌市の幼児期の学校教育や幼児期の子育ての在り方などについて知らせ、理解啓発を図る事を目的として、今年も札幌市教育委員会と札幌市私立幼稚園連合会主催でにここフェスティバルが行われました。

8月6日(木)～10日(月)の5日間、札幌駅前通地下歩行空間(憩いの広場)に札幌市の幼稚園のパネルが掲示され、沢山の市民の皆さんに幼稚園を知って頂く機会になりました。

また、29日(土)に市立大通高校と中央幼稚園で行わ

れた幼稚園体験では、ままごと、ボーリング、描画、体を使った遊び、パネルシアターなど様々なコーナーが設置され、来場した親子が楽しむ様子が見られました。



乳幼児研修会 第1回目 9月8日(火) ちえりあ 第2回目 11月18日(水) 札幌小暮ビル・カンファレンスルーム

今年度から振興委員会の「私私幼子ども子育て支援新制度検討部会」にて企画運営された「乳幼児研修会」の1回目・2回目が上記の日程で行われました。1回目は「乳幼児の保育0歳児時代」として講師にさくら保育園 園長 武岡弘子様を、2回目は「乳幼児の保育1～2歳児時代」として講師に八軒太陽の子保育園 園長 菊地寿子様をお迎えし、予定を過ぎてしまうほどの時間いっぱいにお話をいただきました。夜間の開催で、各自勤務を終えた後の参加でしたが、2回ともほぼ定員を満たしており、今回の研修が現場にとって必要とされていることを実感いたしました。

幼稚園としてお預かりする3～5歳児の前段階となる0～2歳児の発達や成長について、各講師の先生の深い思いと情熱のもと、細かく丁寧にそして広範囲にわたった様々な角度からの理論と実践に基づいた内容に、改めて乳幼児期の大切さと、幼児教育を実践する者としてこの時期の育ちを理解することの重要性を感じました。

第3回目は、2月の開催予定です。



第2回リーダー“力”スキルアップ講座

第2回リーダー“力”スキルアップ講座が11月13日(金)にかでる2・7にて行われました。講師は、6月18日(木)に実施した第1回目に引き続き、文部科学省視学委員で聖徳大学児童学部児童学科の教授であられる 小田 豊先生をお招きし、「こうして元年の改訂は行われた！幼稚園教育要領の本当の意味とは？」というテーマでご講演をいただき、後半は美晴幼稚園の東重満園長先生との対談を通して、真の保育をより深く問い、保育の質を見つめ直す研修会となりました。

平成元年・10年・20年と3度の教育要領改訂に携わった小田先生のご経験から、どの年もその時の子どもの様子・実態を踏まえて紆余曲折を経て現在の幼稚園教育要領にまとまったというお話を聞き、今も昔も大切にしなければならないことは大きく変わらないことを学びました。小田先生と東先生との対談の中で、発達障がいの子を受け入れるだけでその子の能力を伸ばす力が集団にはあること、しかし受け入れる側のノウハウが備わっていることが大切になるというお話がありました。今後、誰もが共に育つ環境をつくっていかねばならない私達の使命は大きいと実感しました。最後に、新制度がスタートした今、小田先生から「幼児

期こそゆったり過ごしてほしい。3、4、5歳の素晴らしい時期にあなたはあなたでいいということを伝えてほしい。」というお言葉をいただきました。



特別支援教育研修会

札幌市私立幼稚園連合会主催の特別支援教育研修会が、10月23日(金)にちえりあにて行われました。講師として、札幌大谷大学短期大学部保育科准教授 吉川和幸先生をお招きし、「障がいのある子もいない子ども共に遊び、共に学ぶ～幼児期の特別支援教育において大切だと思うこと～」というテーマで講演していただきました。

吉川先生自身が保育者だった経験から、当時の経験談を交えながらのお話はとても分かりやすく、身近に感じました。幼児期に子ども自身が「分かって動ける」ことの大切さを吉川先生は強調されており、分かって動けることは生活の中に手応えを生み出し、それが子どもの育ちにとってとても大切なことであるというお話から、障がいのある子どもや支援の必要な子どもの場合は、集団生活の中で十分な「手応え」をもてずに、逆に保育者を含めた環境から、自分が変化することを強いられている実感が強いことを教えていただきました。



保育者は、子どもに単に「教える」あるいは「認める」のではなく、その子が発見した面白さや楽しさを保育者も共有し、ともにわかろうとする姿勢が大切であり、支援を要する子にはこのような横並びの丁寧なかかわりが肝要です、という言葉に身が引き締まる思いがしました。そして、特別支援教育といっても、障がいの有無にかかわらず皆が特別な支援の対象であり、量や内容の違いはあれ、どの子にも支援は必要であることを再確認することができました。

平成28年度予算要望活動

札私幼執行部は、各区の理事の皆様を通じて会員園からご意見を伺い、来年度予算への要望内容を吟味して「平成28年度の予算に対する要望書」をまとめました。そして11月5日(木)、札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の方々の同席のもと、札私幼総務委員、札私幼P連の会長・副会長による予算要望活動を札幌市役所で行いました。

板垣副市長あてに前田会長から要望書を提出し、丸谷副会長から要望主旨を説明しました。また、従来のイコール運動からリニューアルしたSS(スタートスト

ロング)運動の署名43,316名分を、白井P連会長から手渡しました。

副市長からは、「幼稚園と協力しながら子育て支援に取り組みたいので、要望をできるだけ予算に反映できるよう努力したい」というコメントをいただきました。

なお、要望内容については、現在も折衝中です。結果がわかり次第、理事会・広報誌などを通じてお知らせいたします。



予算要望内容

札私幼

- (1) 特別支援教育事業
- (2) 教材教具補助始業
- (3) 一時預かり事業
- (4) 研修費等助成事業(団体補助)
- (5) 人材確保事業(幼稚園教諭・保育教諭)

札私幼PTA連合会

- (1) 保護者負担の軽減
 - ① 就園奨励費補助金
 - ② 新制度移行園の利用者負担額(1号認定)
- (2) PTA団体助成金

園紹介 アラカルト



【学校法人 白水学園 新琴似幼稚園】

主幹教諭 末永 歩

当園は昭和40年に開園し、地域に根差した魅力ある園作りを目指し、今年50周年を迎えました。7月に行われた50周年記念祝賀会では、歴代のPTA役員の方々、地域の方々をはじめ、たくさんの方々にお祝いして頂きました。また、幼稚園内で行われました50周年お祝い会では、園長作詞の50周年記念歌をみんなで大合唱し、楽しい1日となりました。今でも、ふとした瞬間に『たのしい、たのしい、しんことにようちえん♪』と口ずさむ多くの子どもたちを目にしています。

当園では子どもの生活と権利を守り、幼児期の成長と発達を保障するために、心と学びの芽生えを大切に、全人格教育・保育を目指しています。

「健やかな子ども」「心豊かな子ども」「考える子ども」を教育、保育目標とし、伸び伸びと元気に過しながら、自分で考えることができる子どもに成長してほしいという強い願いを持ちながら、日々の保育にあたっています。

総合的な学びの教育「めざまし教育」は、本園の特徴となっています。めざまし教育は、子どもの意欲と、「主体性」を大切に「遊びを」通して、子どもの一人ひとりの個性に応じた発達を促すことを目標としています。

活動教育の重点は、三大大行事（運動会・保育発表会・音楽会）、めざましあそび（ピアジェ理論に基づく教材）と、外部講師と共同して進める英会話、体育、プール、サッカー（課外活動）活動を行い、知的活動と、体力づくり、両面でバランスよく取り組んでいます。又、天気の良い日はお弁当を持っての園外保育（遠足）、植え付け、雑草取り、収穫、クッキングといった一貫とした食育教育にも重点をおき、子どもたちは土まみれになって作物を育て、自分の口に入るまでを体験しています。近隣小学校、中学校との、体験交流、老人保健施設訪問や、老人クラブとの交流、防災教育として、幼年消防クラブに加入し、啓蒙活動も行っています。また、未就園児への開放教室や、地域ふれあいを目的とした「七夕まつり」や「雪中運動会」なども行っています。

この様々な体験と経験を通し、子ども達が沢山のことに興味関心を持ち、将来の夢や希望を膨らませながら、選択肢のきっかけになって欲しいという熱い願い



を込めながら、年間のカリキュラム、行事の自主編成をより良いものに考えています。

今現在は、三大大行事の一つである保育発表会に向けて、取り組んでいます。保護者に成長している姿をしっかりと伝える保育を目指し、年少組は、お遊戯、年中・年長組は劇に取り組んでいるところです。当園では、「先生が決めたセリフを子どもたちが覚えて言う」練習は行っていません。同じお話でも何種類もある絵本を読み聞かせ、時には子どもたちが家庭から絵本を持ちだし、みんなで、ストーリーの違いや、挿絵の違いを話し合い、台本を作っていきます。発表会に向けての前段階は、好きな役になりきり、毎日違う役を経験して、絵本の中で印象に残った言葉や、絵をイメージして体全身を使って表現するという事です。自分で考えた言葉、お話とは直接関係ない楽しいネタ（テレビで流行している言葉など）、まだ役が決定していない中、子ども達同士で話し合って今、まさに台本を決めているところです。先日、Aちゃんが「先生、忙しいと思うから台本作っておいだから」違うもう一人のAちゃんが「先生、役になりきって歌の歌詞を作ってみたからメロディつけておいてね」ですって。あとからお母様に聞いてみると、「先生が、みんなで台本を作ろうっていうから、私が考えないといけないの」といって、2時間近く籠ってノートにびっしり字や絵を書いて、台本を作っていたそうです。（先生業をさぼっていた訳ではないのですが…）そのノートを元に、みんなでセリフを言いあって、そろそろセリフが決まってくる頃です。教師が一人で考えるのではなく、子どもたちの意見や興味を十分に聞いて、クラスみんなで作り上げる発表会を目指しています。

来年度から、当園は、札幌市内で初の「幼稚園型認定こども園」として新たな一歩を踏み出します。今まで培ってきた教育を基盤とし、働く保護者の方々のニーズにも今まで以上に応えながら、より良い教育、保育を目指して行きたいと思えます。





連台会日誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(7月以降・予定を含む)

- 7月8日(水) 広報委員会
- 7月9日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会川崎大会
～10日(金) 会
- 7月17日(金) 高橋知事懇談会
- 7月28日(火) 新採研宿泊研修(山の家)
～31日(金)
- 7月30日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会次世代
～31日(金) 研修会熊本大会
- 8月4日(火) 子ども未来局予算折衝
- 8月6日(木) 秋元市長等表敬訪問
- 8月6日(木) にこにこフェスティバル・パネル展
～9日(日)
- 8月7日(金) 新規採用者研修会
- 8月10日(月) 2年次研修会
- 8月18日(火) 子ども未来局予算折衝
- 8月24日(月) 振興委員会
- 8月25日(火) 第1回札幌幼児教育セミナー
- 8月26日(水) 第1回特別研修会
設置者園長研修会
- 8月27日(金) 広報委員会
- 8月29日(土) にこにこフェスティバル・幼児教育体験
- 9月1日(火) 新制度検討部会
子ども未来局長予算折衝
- 9月2日(水) 秋元市長懇談会
- 9月4日(金) 就職フェア説明会
広報委員会
- 9月8日(火) 第1回乳幼児研修会
市議会予算勉強会
- 9月10日(木) 第4回理事会・総務委員会
- 9月16日(水) 第2回特別研修会
- 9月26日(土) 札幌幼就職フェア
- 9月29日(火) 第3回研究委員会
- 10月19日(月) 広報委員会
- 10月23日(金) 市教委委託事業会議
特別支援教育研修会

- 10月29日(木) 子ども未来局予算折衝
- 11月4日(水) 市議会予算勉強会
- 11月5日(木) 札幌市長予算要望
- 11月6日(金) 設置者園長研修会
- 11月6日(金) 第47回札幌市私立幼稚園教育研究大会・公
開保育 全大会
- 11月11日(水) 市長政策室長新制度勉強会
- 11月13日(金) リーダーカスキルアップ講座
- 11月16日(月) 臨時総務委員会
- 11月18日(水) 第2回乳幼児研修会
- 11月24日(火) 第4回研究委員会
- 12月9日(水) 広報委員会
- 12月15日(火) 理事会・総務委員会・養成校懇談会

平成28年(予定)

- 1月13日(水) 2年次研修会
- 1月14日(木) 新規採用者研修会
～15日(金)
- 1月19日(火) 新年交礼会・理事会・総務委員会
- 1月25日(月) 第2回幼児教育セミナー
- 2月10日(水) 第5回研究委員会
- 2月23日(火) 札幌幼総会・代表者会議・理事会・総務委
員会
- 5月20日(金) 札幌幼総会・代表者会議・理事会・総務委
員会・理事懇談会

28年度の予定

- 9月24日(土) 札幌幼就職フェア
- 10月28日(金) 第48回札幌市私立幼稚園教育研究大会
・29日(土)
- 10月17日(月)～ 願書配布
- 11月1日(火)～ 入園受付



「先生は、大きくなったら何になりたいの？」みなさんは、こんな質問を子どもにされたことはありませんか？

うちの幼稚園の毎月のお誕生会では、誕生児が一人ずつ「クラスと名前、誕生日、大きくなったらなりたいもの」を発表します。年齢によって将来の夢は実にさまざまで、いつも聞いていて自然と笑顔になります。

年齢が幼いほど夢の対象が生き物だったり、時には〇〇の運転手ではなく乗り物そのものになりたかったり、かわいらしい言葉が聞かれます。それが、年齢が上がるにつ

れてテレビのヒーローやキャラクターになり、年長児では具体的な職業名が聞かれるようになります。お父さんやお母さんと同じ仕事に憧れている子もいて、そんな時の保護者の顔はとても嬉しそうです。また、「幼稚園の先生になりたいです！」と言ってくれる子もいて、それを聞くと夢を壊さないようにもっと精進しよう！と身が引き締まります。

これから子ども達がいろいろなことに興味・関心を持ち、世の中にはさまざまな仕事があってどれも大切であることを知り、自分の夢に向かって力強く歩みだせますように…。私達が今出来ることを見直したいと思います。

(広報委員 天保聖子)

